

1. 科目名(単位数)	外国語活動の指導法 (2単位)	3. 科目番号	SJMP2301 EDEL2321
2. 授業担当教員	澁井 とし子		
4. 授業形態	講義、演習(ペア・グループ活動、ディスカッション、プレゼンテーション)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	小学校教諭一種免許状取得希望の者が望ましい。		
7. 講義概要	今日、日本の英語教育は著しく進展し、2020年から、小学校3.4年生対象の外国語活動が開始された。そこでこの新しい動きに柔軟に対応し、より良い授業を目指すため、本講座では、まず、外国語活動の基礎となる外国語指導法や児童のための発音と語彙指導について学習する。次に、テーマを決めて実際に使用されている指導案を検討し、良い点や課題を皆でディスカッションする。その際、受講者自身が外国語活動を体験しつつ、指導法の学びを深め、指導技術に磨きをかける。その後、グループで模擬授業を体験することを通して、外国語活動への理解を深め、教育現場への応用を考えていく。		
8. 学習目標	教師の立場、学習者の立場の両面から、外国語活動の指導について多角的に学習し、オーセンティックな指導案の検討と外国語活動の体験を通して、外国語活動の学習と指導のあり方について理解を深め、模擬授業を通して、教育実践力を高めることができる。		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	1. 授業内容の理解を深めるために予習・復習としてテキスト内の指定した範囲を読む。 2. 発音と語彙力を向上させるために発音と語彙に関するワークシートに取り組む。 3. 第10回目以降に、グループで外国語の授業の学習指導案(レポート課題として位置付ける)を作成する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】吉田研作(監修)小川隆夫・東仁美(著)『小学校英語はじめる教科書 改訂3版 外国語・外国語活動指導者養成のために - コア・カリキュラムに沿って』mpi 文部科学省『Let's Try!1』『Let's Try!2』東京書籍		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 外国語活動の目標と内容について理解を深めることができたか。 2. 外国語活動の指導法・発音・語彙指導に関する理解を深めることができたか。 3. 実際に使用されている指導案の検討と外国語活動の体験を通して、外国語活動の学習と指導の在り方について理解を深めることができたか。 4. 模擬授業の体験とクラスディスカッションを通して、教育実践力を高めることができたか。 ○評定の方法 復習テスト 30% レポート課題 40% コースワーク(授業中の態度、言語活動参加度、グループワークレポートを含む。) 30%		
12. 受講生へのメッセージ	小学校3年生・4年生の子どもたちがどのようにしたら週1回ある「外国語活動」の授業を楽しく受けることができるでしょうか?どのようにすると英語や外国の文化に興味を持つでしょうか?児童の発達段階や学年の特徴を考えたいふさわしい授業を一緒に考えましょう。		
13. オフィスアワー	初回の授業でアナウンスします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 第三部 Unit 1 小学校教育の理念と現状の理解	事前学習	教科書の第三部 Unit 1 (pp.138-141)を読み、小学校における外国語教育の目的と目標を把握する。
		事後学習	外国語教育の目的と目標について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第2回	第三部 Unit 2 中学年外国語活動から高学年外国語科への接続	事前学習	教科書の第三部 Unit 2 (pp.142-145)を読み、中学年から高学年への接続について把握する。
		事後学習	指導上の留意点について再度教科書の該当部分を熟読する。
第3回	第三部 Unit 3 発達心理学の基礎	事前学習	教科書の第三部 Unit 3 (pp.146-149)を読み、発達心理学について把握する。
		事後学習	学年による発達心理学の違いについて再度教科書の該当部分を熟読する。
第4回	第三部 Unit 4 外国語活動のねらいと活動の在り方	事前学習	教科書の第三部 Unit 4 (pp.150-153)を読み、外国語活動について把握する。
		事後学習	外国語活動の指導上の留意点について再度教科書の該当部分を熟読する。
第5回	第三部 Unit 5 児童の認知・情緒発達に即した指導法	事前学習	教科書第三部 Unit 5 (pp.154-157)を読み、児童の認知・情緒発達について把握する。
		事後学習	学年の違いを整理し、再度教科書の該当部分を熟読し、理解する。
第6回	第三部 Unit 6 学級担任とJTEとのチーム・ティーチング	事前学習	教科書第三部 Unit 6 (pp.158-161)を読み、教師の役割、チーム・ティーチングについて把握する。
		事後学習	教師の役割とチーム・ティーチングについて

		て再度教科書の該当部分を熟読する。
--	--	-------------------

第7回	第三部 Unit 7 ことばへの気づきをもたらす指導	事前学習	教科書第三部 Unit 7 (pp.162-165)を読み、言葉への気づきをもたらす指導とはどのようなものであるのか把握する。
		事後学習	ことばへの気づきをもたらす指導は何かを考え、再度教科書の該当部分を熟読する。
第8回	第三部 Unit 8 外国語活動の学習評価	事前学習	教科書第三部 Unit 8 (pp.166-169)を読み、外国語活動の学習評価を理解する。
		事後学習	学習評価について、再度教科書の該当部分を熟読し、理解する。
第9回	第三部 Unit 9 中学年に適したさまざまな活動	事前学習	教科書第三部 Unit 9 (pp.170-173)を読み、中学年委適したさまざまな活動を把握する。
		事後学習	中学年に適したさまざまな活動を振り返り、再度教科書の該当部分を熟読する。
第10回	第三部 Unit 10 中学年に適した教材	事前学習	教科書第三部 Unit 9 (pp. 174-177)を読み、中学年に適した教材を把握する。 指導案を作成する。
		事後学習	学習を振り返りながら指導案を修正する。
第11回	第三部 Unit 11 英語によるやり取りの仕方	事前学習	授業担当部分の事前準備をする。
		事後学習	指導案とワークシートを最終点検する。
第12回	第三部 Unit 12 児童の発話の引き出し方・児童とのやり取りの進め方	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入する。
第13回	模擬授業（授業観察・質疑応答・自己評価）	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入する。
第14回	模擬授業の評価・クラスディスカッション・総評	事前学習	模擬授業評価シートのポイントを確認する。
		事後学習	模擬授業評価シートを提出できるよう完成させる。
第15回	外国語活動の指導法に関する重要事項の総まとめ	事前学習	振り返りシートを見直し、重要事項をまとめておく。
		事後学習	外国語の授業を実施する上で必要なことを引き続き実践する。